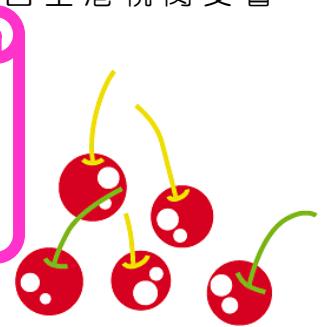


アメリカンチェリーの輸入



今年もアメリカンチェリーが味わえる季節となりました。

例年5月上旬から6月中旬をピークに日本に輸入されるさくらんぼの総輸入量の99%以上はアメリカ合衆国で、その中でも約70%をカリフォルニア産ビング種が占めるといわれています。大粒で深みのある赤色と、酸味が少なく豊富な甘味が特徴のアメリカンチェリーは日本でも馴染みがあります。

現地カリフォルニアでは、総生産量の約10%が日本向けに輸出されているといわれていますが、輸入関係者によりますと「今年はアメリカ本国での収穫量が過去に例のないほど収穫減のシーズンとなっており、日本への輸入量も少なくなる」と予想されています。

◎ 輸入さくらんぼの推移（平成16年～平成25年）

（単位：トン）

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総輸入量	13,941	12,363	6,947	9,374	8,525	10,013	11,009	10,351	10,471	7,377
関西空港	3,212	3,163	1,385	2,125	1,796	2,285	2,549	2,521	2,488	1,492
成田空港	9,595	8,174	4,844	6,108	5,961	6,596	7,463	6,666	6,764	4,952
その他	1,135	1,025	718	1,140	768	1,133	998	1,164	1,219	933
米国産 (構成比)	13,765 (98.7%)	12,257 (99.1%)	6,846 (98.5%)	9,295 (99.2%)	8,454 (99.1%)	9,920 (99.1%)	10,904 (99.0%)	10,263 (99.2%)	10,415 (99.5%)	7,332 (99.4%)
関西空港	3,212	3,163	1,385	2,125	1,795	2,285	2,549	2,521	2,488	1,492
成田空港	9,418	8,068	4,743	6,029	5,891	6,502	7,362	6,578	6,709	4,907
その他	1,135	1,025	718	1,140	768	1,133	993	1,164	1,218	933

（参考）国産さくらんぼの出荷量（農林水産省「農林水産統計」より）

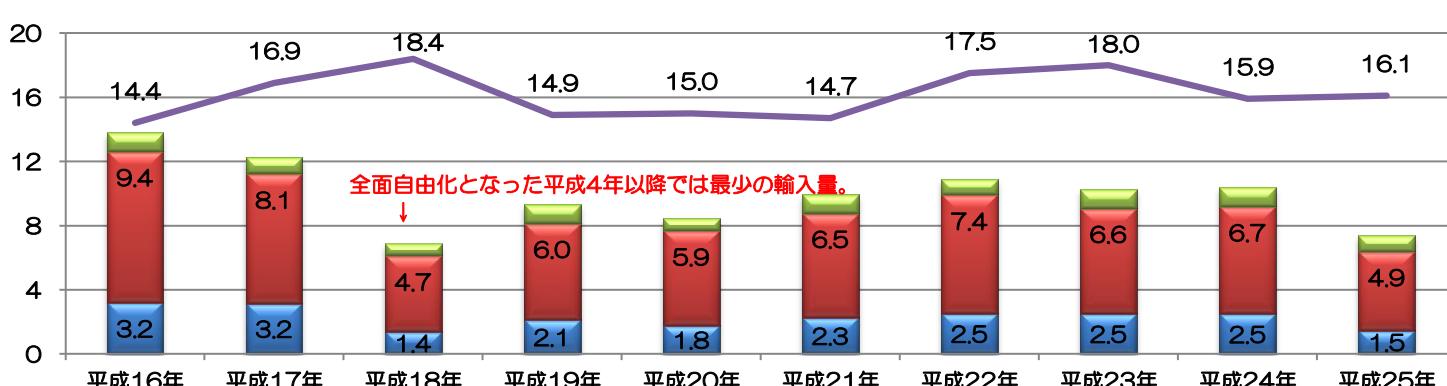
（単位：トン）

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
出荷量	14,400	16,900	18,400	14,900	15,000	14,700	17,500	18,000	15,900	16,100

アメリカンチェリーの輸入量（関空・成田・他）と国産さくらんぼの出荷量の推移

（重量：千トン）

■ 関西空港 ■ 成田空港 ■ その他 ■ 国産さくらんぼ



注1) 「アメリカンチェリー」とは、「米国産のさくらんぼ」の通称。

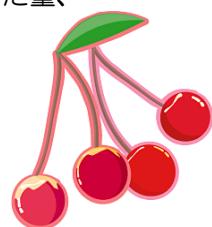
注2) 「出荷量」とは、農林水産省「農林水産統計」に記載する「収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等の量を差し引いた重量」をいう。

注3) 本資料の「輸入さくらんぼ」とは、統計品目番号「0809.29-000」に属するもの。

※2011年以前は統計品目番号「0809.20-000」に属するもの。

注4) 本資料の「成田空港」の輸入量は、東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所（南部事務所含む）の各官署の通関量によるもの。

注5) 本資料の表示単位未満は四捨五入。



1. 本資料を他に転載するときは、『大阪税関関西空港税関支署の資料による』旨を注記してください。

2. 本資料の問い合わせは、大阪税関関西空港税関支署業務管理課総括係（TEL072-455-1704）まで。